

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター

第26回 研究報告会

共催 国立大学法人福井大学、公立大学法人福井県立大学

参加費
無料

日時 2024年**11**月**25**日(月) 13:20～16:50

会場 福井大学文京キャンパス 総合研究棟 I 13階会議室
(福井市文京3-9-1)

特別
講演

宇宙開発の今と未来 ～人類は再び月へ～

大塚 成志 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
宇宙探査イノベーションハブ ハブマネージャ

今から50数年前、人類は初めて月面に降り立ちました。その当時、TV中継で月面を歩く宇宙飛行士の姿を見た若い親たちは、自分の子供が大人になる頃には月旅行が実現しているのではないかと期待に胸を膨らませたそうです。

けれども、その後、人類は月へ行くのをやめ、地球の周りの宇宙空間を利用する方向へ宇宙開発は進展してきました。天気予報、衛星放送、衛星通信、カーナビ、農業や漁業への衛星データ利用、災害観測、地球観測などなど…。今では宇宙開発の成果は私たちの日常生活になくてはならないものとなっています。

そして今、各国は国際協力のもと、再び月を目指して本格的な活動を開始しました。

今回の講演では人類の宇宙への進出の歴史を振り返りつつ、月を目指すJAXAの挑戦についてお話しします。

研究
報告

- ・宇宙産業用イオンビーム照射手法の確立
- ・室温熱電材料の局所・平均構造観察と解析と熱電特性

——— ポスターセッション ———

- ・ナノ構造化を活用した新規水素貯蔵材の開発
- ・炭素ビーム照射によるトレニアフリル変異体frilly petal undulation1 (fpu1)の作出
- ・放射線被ばく事故に対応したDNA損傷解析による被ばく線量評価法の実用化

[参加お申込方法]

下記アドレスまで、「ご所属」、「お役職」、「お名前」、「ご連絡先電話番号」をメールにて送信ください。

MAIL hokoku@werc.or.jp

[お問合せ先]

公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター 企画支援広報部

〒914-0192 敦賀市長谷64-52-1

TEL 0770-24-7273

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター

第26回 研究報告会

当法人は、開所以来原子力やエネルギー関連の科学技術の活用に関する調査、研究開発ならびに人材育成等を通して、科学技術の地域産業への普及と地域の活性化を図ってまいりました。

本報告会は、当法人の研究活動をご紹介しますとともに、JAXAの大塚成志宇宙探査イノベーションハブハブマネージャをお招きしてご講演いただきます。

皆さまのご来場を心からお待ちしております。

プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 13:20～13:30 | 開会挨拶 櫻本 宏 (公財) 若狭湾エネルギー研究センター 理事長
上田孝典 福井大学 学長 |
| 13:30～14:05 | 特別講演
「宇宙開発の今と未来 ～人類は再び月へ～」
大塚成志 (国研) 宇宙航空研究開発機構
宇宙探査イノベーションハブ ハブマネージャ |
| 14:05～14:30 | 「宇宙産業用イオンビーム照射手法の確立」
青柳賢英 福井大学産学官連携本部特命准教授 |
| 14:30～14:55 | 「室温熱電材料の局所・平均構造観察と解析と熱電特性」
小菅厚子 大阪公立大学大学院理学研究科物理学専攻教授 |
| 14:55～15:25 | 休憩・ポスターセッション
・令和5年度公募型共同研究の成果
・当法人の各研究分野における取組状況 |
| 15:25～15:50 | 「ナノ構造化を活用した新規水素貯蔵材の開発」
石神龍哉 (公財) 若狭湾エネルギー研究センター
研究開発部エネルギー材料グループ主幹研究員 |
| 15:50～16:15 | 「炭素ビーム照射によるトレニアフリル変異体frilly petal undulation1 (fpu1)の作出」
風間裕介 福井県立大学生物資源学部教授 |
| 16:15～16:40 | 「放射線被ばく事故に対応したDNA 損傷解析による被ばく線量評価法の実用化」
松尾陽一郎 福井大学工学系部門原子力安全工学講座准教授 |
| 16:40～16:45 | 総括質疑 |
| 16:45～16:50 | 閉会挨拶 野田耕司 (公財) 若狭湾エネルギー研究センター 所長 |

○会場と交通アクセス

・会場

福井市文京3丁目9番1号 福井大学文京キャンパス 総合研究棟 I 13階会議室

・交通アクセス

鉄道・・・えちぜん鉄道福井駅(福井鉄道(路面電車)ではありません)から
三国芦原線に乗り、福大前西福井駅で下車(約10分)